
アトラカルデの教本

ゼロジ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アトラカルデの教本

【Nコード】

N6519Z

【作者名】

ゼロジ

【あらすじ】

平凡な繰り返しの日々を不幸せな日々だと勝手に勘違いしていた俺争いのない平和な毎日を絶対的な幸せの形であると信じ込んでいた彼女

皮肉なことに二人に日常について教えたのは二人にとっての非日常だった。

日常で知ることのなかった世界の姿

世界は

日常は

非日常は

一人になにを教えるのか…

一 開幕前の回想へそもそもの間違い

平凡な毎日に嫌気が差してなにか突拍子もない刺激的なことが起こらないかと考えたことがあるのは俺だけじゃないはずだ。

よくファンタジー小説などで突拍子もない世界へ飛ばされたりした主人公は平和を求めて戦うようになれるが、実際のところ、危険に直^{じか}に触れてみないと平和の重要性なんてわからない。

命の危機に触れないと命の尊さはわからない
脅威に触れないと本当の恐怖は理解できない

幸せを知らないと不幸は実感できない

不幸せを知らないと幸せは実感できない

でも…だからこそ…『幸せであると実感できない状態は何よりも幸せ』なのかもしれない。

幸せと実感できないということは不幸を知らないことなのだから
幸せを実感できないことは不幸であることと必ずしも^{イコール}ではないのだから

これから俺が語るのは俺が不幸と感じた俺の幸せな物語

俺にとって本当の不幸を教えてくれた物語

俺にとって本当の幸せを教えてくれた物語

主人公は『平凡な繰り返しの日々』を不幸せな日々であると勘違いしていた俺

ヒロインは争いのない平和な毎日を『絶対的な幸せの形』であると

勘違いしていた彼女

平凡な繰り返しの日々なんてありはしないのに…
絶対的な幸せの形なんて存在するわけがないのに…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6519z/>

アトラカルデの教本

2011年12月21日22時51分発行